

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 1号機シュラウドの点検終了について

平成 15 年 2 月 13 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 1号機(沸騰水型、定格出力 110万キロワット)は、9月3日からの定期検査において、シュラウドの各溶接線について水中カメラ^{*1}を用いた目視点検(VT)および同点検により確認されたひびの超音波探傷検査(UT)を実施してまいりましたが、2月12日に全てのシュラウド点検が終了しましたのでお知らせいたします。

目視点検により、中間部リング内側上部に9箇所、及び中間部胴溶接線(H4)の内側近傍に1箇所、同溶接線(H4)外側近傍に3箇所のひびがあることを確認しました。

(10月10日、10月24日、12月26日、1月20日お知らせ済み)

ひびが確認された各部位について、ひびの深さを超音波探傷検査(UT)により測定した結果、最大深さは、中間部リング内側上部が約10mm、H4内側近傍が約12mm、同H4外側近傍が約15mmであることを確認しました。

以 上

* 1 : 点検に使用している水中カメラは、10~30cm離れた距離から直径 1/1000インチ(25.4/1000mm)のワイヤが識別できる程度の精度を持つものです。